



Seeds of Female Researchers

山形大学

大日本印刷株式会社研究開発センター

山形県立米沢栄養大学

女性研究者 シーズ集

第2版



文部科学省 科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)
山形大学・大日本印刷株式会社 研究開発センター・山形県立米沢栄養大学

Seeds of Female Researchers

山形大学

大日本印刷株式会社研究開発センター

山形県立米沢栄養大学

女性研究者 シーズ集

第2版

ご挨拶

代表機関総括責任者
山形大学長

小山 清人



平成27年より、山形大学と大日本印刷株式会社研究開発センター、山形県立米沢栄養大学の3機関は、大学と企業の枠を乗り越えて女性研究者の増加、女性研究者の上位職と登用による研究発展、妊娠・出産、育児、介護などのライフ・イベントに対する女性研究者への支援を充実させるために、互いの強みを活かして連携しております。そして「有機エレクトロニクスを活用した未来の生活創造への女性研究者の参画」というテーマを掲げ、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業（連携型）」に取り組んでいます。

日本では理工系を専門とする女性研究者比率は10%に達していません。世界に先駆けて少子高齢化が急速に進む現在、人々の健康で豊かな生活に関わる研究分野での女性の活躍が期待されます。そこで6年間のプロジェクトでは各機関に所属する女性を代表とする共同研究を促進し、女性研究者の研究力の向上とリーダー輩出を目指しています。

平成30年はプロジェクト開始より4年目になります。その成果は女性研究者の在籍比率や上位職比率の向上だけにとどまらず、本プロジェクトのサポートを受けた女性研究者の研究業績数が増加し、今までにない新たな価値を創造し、社会に役立つ研究が行われています。

プロジェクト4年目となるこのたび、3機関に所属する女性研究者のシーズ集第2版を発行することとなりました。第2版では新たな研究者が加わり、所属や年齢、国籍、専門の異なる多様な人材をご紹介します。

今後、このプロジェクトの成果を山形県内の高等教育機関で共有し、南東北のネットワークを構築することを予定しています。さらに、山形大学のCOIと連携し、企業や行政の協力を得て、女性研究者たちが考える未来の生活の実現に向けて研究や社会貢献に取り組んでまいります。

その実現のために、多くの方にご覧いただき、興味をもたれた研究に対して、是非ご連絡をいただき、3機関との連携を進めていただければ幸いです。

CONTENTS

- 02 ご挨拶
- 04 事業紹介
- 07 国立大学法人 山形大学
学術研究院
- 08 大森 桂 (食育、家庭科教育)
- 09 三原 法子 (臨床栄養学、給食経営管理学)
- 10 矢口 友理 (栄養疫学、スポーツ栄養学)
- 11 布施 淳子 (医療安全教育、継続教育)
- 12 泉 小波 (印刷技術、導電性材料開発)
- 13 黒谷 玲子 (呼吸器疾患、細胞生物学)
- 14 宮 瑾 (架橋材料の合成、有機材料学)
- 15 高澤 由美 (都市計画、地域政策、観光まちづくり)
- 16 皆川 真規 (有機化学、触媒反応)
- 17 八木 文子 (Art&Design/alternative)
- 18 吉田 麗娜 (機能性薄膜材料、溶液プロセス)
- 19 羅 承慈 (機能性高分子、有機デバイス開発)
- 20 網干 貴子 (植物、昆虫、化学物質)
- 21 井上 奈穂 (生活習慣病、機能性成分)
- 22 加納 寛子 (情報教育、情報社会論)
- 23 渡辺絵理子 (体内受精、両生類)
- 24 Have your own dream! ~高校生へのメッセージ~
- 25 大日本印刷株式会社
研究開発センター
- 26 酒井 美希 (印刷テクノロジー、プロセス解析)
- 27 中津川夏織 (光学設計、微細加工)
- 28 松尾佳菜子 (サービスデザイン、インタラクティブデザイン)
- 29 松田久仁子 (サービスデザイン、マーケティング)
- 30 山下かおり (コンバーティング技術、バイオミメティクス)
- 31 山形県立米沢栄養大学
健康栄養学部
- 32 江口 智美 (調理科学、食品物性学)
- 33 大和田浩子 (障がい児・者、栄養ケア・マネジメント)
- 34 金谷 由希 (障がい児・者、食事調査)
- 35 金光 秀子 (セレン、高齢者)
- 36 齋藤 寛子 (食文化、郷土料理)
- 37 山口 光枝 (時間栄養学、栄養教育)

文部科学省 科学技術人材育成費補助事業

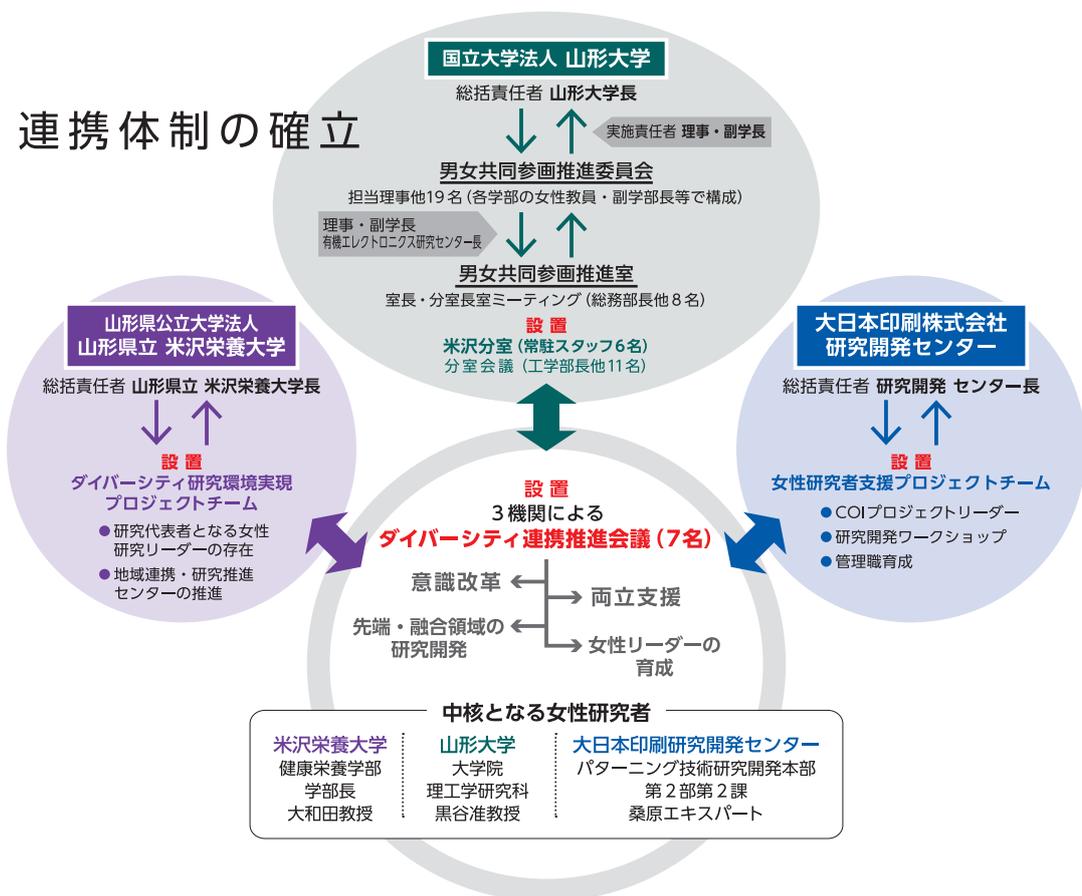
ダイバーシティ研究環境実現 イニシアティブ事業（連携型）

テーマ「有機エレクトロニクスを活用した未来の生活創造への女性研究者の参画」

山形大学と大日本印刷株式会社研究開発センター、山形県立米沢栄養大学の3機関は、女性研究者の裾野拡大と、女性研究者の研究力向上及び上位職への積極的登用を目指してダイバーシティ研究環境を実現します。

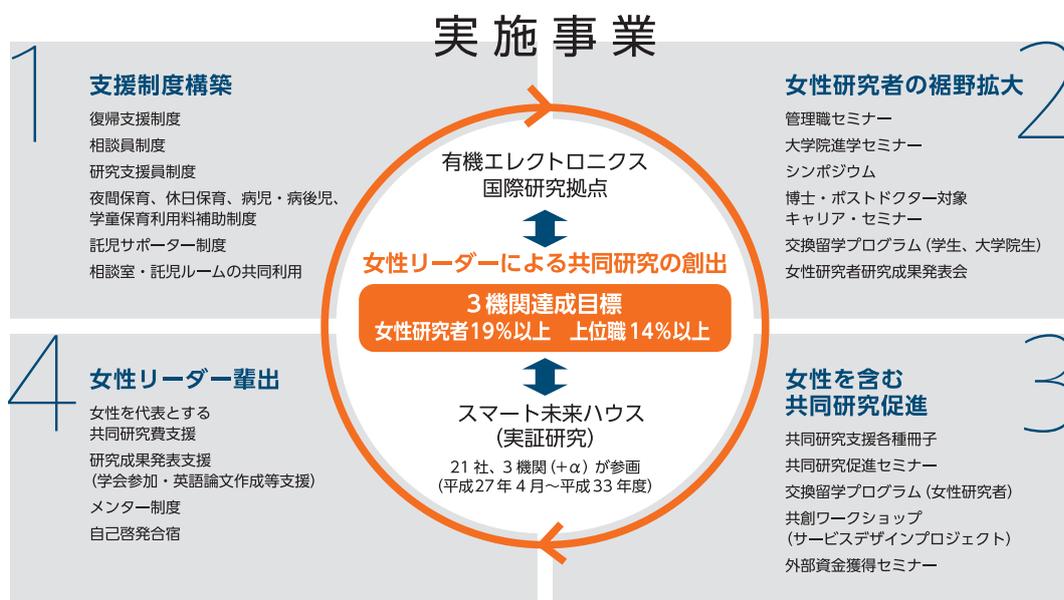
連携体制・役割分担

3機関は本事業を推進するためのプロジェクトチームや男女共同参画推進室分室を設けました。さらに、3機関によるダイバーシティ連携推進会議を設立しました。ダイバーシティ連携推進会議は、3機関の連携を密接にし、事業を円滑に遂行し目標達成のために様々な決定を行います。



3 機関の強みを活かし、女性研究者の活躍推進を図ります

本事業は4つの柱を設け、3機関の強みを活かし、女性研究者の活躍推進を図ります。平成27年度に実施した事業は以下のとおりです。



1 両立支援制度の構築

仕事と家庭の両立、研究とライフ・イベントとの両立支援を行うため各種支援制度の構築をします。

- **夜間保育、休日保育、病児・病後児、学童保育利用料補助制度**
夜間保育や休日保育、病児・病後児保育、学童保育の利用に対し、子ども一人年間2万円を支援する制度
- **相談員制度**
相談員を配置し、相談室の共同利用や巡回相談を実施
- **研究支援員制度**
研究者を対象に、研究とライフ・イベントの両立を支援するために、研究支援者を雇用する支援制度
- **託児サポーター制度**
学生が託児サポーターとなり、保育士等と共に一時預かりをする託児サポーター制度
- **復帰支援制度**
ライフ・イベントによる過去3年以内に3ヶ月以上の研究中断者の復帰を支援する研究費支援制度

2 意識改革・女性研究者の裾野拡大

女性大学生・大学院生・ポストドクター等を対象とする大学院進学セミナー、企業・研究所への就職を目指すキャリア・セミナーを開催し、女性研究者が増加するようロール・モデルを提示します。

- **管理職セミナー**
連携機関の管理職等を対象とし、本事業の目的や内容の理解を深め、数値目標達成に向けた意識啓発を図るセミナー

- **共同研究促進セミナー**
連携機関における共同研究を促すセミナー
- **大学院進学セミナー**
大学院進学予定者、教職員を対象に女性研究者育成の先進事例やロール・モデルを紹介し、懇談会を実施
- **シンポジウム**
国内外のジェンダード・イノベーションに関する研究成果について講演し、本事業の開始とその意義について周知するシンポジウム
- **交換留学プログラム**
女性学部生及び女性大学院生を対象に、ロール・モデルとの交流、博士課程進学希望者の増加、女性研究者の裾野拡大を目的とした企業との交換留学プログラム
- **女性研究者研究成果発表会**
女性研究者の裾野の拡大を図るため、大学生、中高生、教員等を対象とした研究成果発表会を開催
- **博士・ポストドクター対象キャリア・セミナー**
博士課程在学者、ポストドクター等を対象に企業等の研究職について知るキャリア・セミナー

3 女性を含む共同研究の促進

未来の生活創造のための女性の参画や、ジェンダーの視点をもつ研究（ジェンダード・イノベーション）を実現するために、女性を含む共同研究を促進します。

- **共同研究支援冊子（女性研究者シーズ集、研究所紹介リーフレット、スマート未来ハウスリーフレット）**
- **3機関及び関係機関の女性研究者・教員・学生が快適な未来の生活を考える共創ワークショップ（サービスデザインプロジェクト）**
- **外部資金獲得セミナー**
科研費などの外部資金を獲得し、女性研究者の研究力向上を目的とするセミナー
- **交換留学プログラム**
女性研究者の研究力向上と研究者の裾野拡大を目的とした交換留学プログラム制度

4 女性リーダー輩出

女性研究者の上位職への積極的登用のため、様々な支援を行います。

- **自己啓発合宿**
女性研究者の研究開発能力、マネジメント能力、マーケティング能力の育成を目的とした研修
- **女性を代表とする共同研究費支援**
女性リーダーの育成支援として、女性が研究代表となった共同研究への研究費支援
- **研究成果発表支援**
国際学会や国際会議において、英語でプレゼンテーションすることを支援するセミナーの開催、英語論文執筆を支援するセミナーの開催